

『運動あそび 111』の出版に関わらせていただきました

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

今夏、明治図書出版さんから発刊された『運動あそび 111』



高知の山崎功一先生に誘われ本の出版に関わると言う貴重な機会をいただきました。

本書に掲載されている 111 の遊びのうち岩崎が担当したのは 7 つだけですが、岩崎の中で運動あそびはどのようなものか、子どもたちにとって休み時間はどのようなものかということに改めて考える機会になりました。

ちなみに本書を作成することになり、私自身休み時間の「見方・考え方」が変わりました。本校の子どもたちは、まず誰と遊ぶか、次に何をするかという流れになっていることを再認識しました。

また本書は何をするかといったときのレポーターの一助に、さらに本書にある遊びをやってみたいから友達を集めるといった時の一助になってくれたらと思っています。

ここで、本書に書かれている「体を動かす効果」の一部を抜粋

- ①脳に刺激を与え脳を鍛えられます (脳)
- ②体力や運動能力の向上につながります (行動体力)
- ③体を動かすことで健康な体を育みます (防衛体力)
- ④成功体験の積み重ねで心の成長につながります (心)
- ⑤集団で遊ぶことで人間関係の構築につながります (人間関係)
- ⑥ルールや工夫やあそびをつくることで想像力を養います (想像力)

ちなみに、この本は 16 人の全国の先生と明治図書出版の木村悠さんと制作しましたが、私が対面でお会いしたことがある先生はたったの 1 人だけです。コロナ禍のためお会いできなかったところもありますが、お会いできなくてもメールや SNS で繋がって一冊の本を作ることができるということも教えてもらいました。